

流山とりだより

流山野鳥同好会

No.148

2024年7月10日



●チョウゲンボウ

巣立ち間もない雛（幼鳥）です。

この時期は猛禽類とはいえ危険がいっぱい。

まだとても飛べるとは言えず、只々、生き延びることを祈るばかりです。

2024.06.05 南流山

撮影：森岩 好明

観察会から

● 4月（第299回）定例観察会 野々下・総合公園

2024年4月21日
森田洋一

今回、観察会は、午前10時の開始となった。夏のはじめの日差しを感じさせる中、自然の中を散策する。

歩道が整備されていたり、車や自転車の通行が比較的少ない道であったり野鳥を探しながら、双眼鏡に全神経を集中しやすい環境であった。

観察のスペシャリストも同行しているので、はじめての参加、鳥の名前はよくわからないといった方でも、気軽にお試し経験ができる。

野々下水辺公園から、運動公園までの道筋は、まだ田園風景や木々のぬくもりを感じさせるような林が残っており、何となく昔懐かしい雰囲気を楽しむことができる。

私は、先月同様、後方で安全確認をしながら、風景の写真を撮っていた。今回は、カラーよりもセピア色が合っているような感覚があった。

私たちが日々の生活で、忙殺されてしまうような、思い出の断片や昭和のノスタルジックな世界を、ありのままの形で、感じることができる。

青春というのが、無意識の中で過ぎ去ったような・・・花の色、木々の緑、青い空といった天然の色合い、この時期に味わうことができる風景が、歩いた後の余韻を提供してくれる。

野鳥観察と同時に、ゆっくりと時の流れを忘れて自然の中に身を置き、木陰にいけば、多くの樹木が自然のクーラーの役割を果たしてくれていることを実感することができる。

休日のひとつを歩く、夕暮れの中、帰宅する自転車、農作業の合間、どれも、イメージのパズルは共存し続ける・・・

みなさまのご参加、お待ちしております。

<編集より>

残り少ない冬鳥たち、そして早々の夏鳥。この季節ならではの観察会でしたね。野々下水辺公園ではハクセキレイ、セグロセキレイがせわしなく速足歩行。そしてコチドリが、お気に入りのエリアを得意のチドリ足。居残りツグミは、お別れの挨拶でしょうか。

坂川ではコガモのペアが隠れんぼ。バンがここぞとばかりに姿を見せてくれました。野々下へ続く水辺ではカワセミをバッチリ。そこに一瞬現れたのがクイナ？ ヒクイナ？。どちらか不明ですが確かにいましたので、クイナ？としてカウントしましょう。

カモたちが去り、ツバメやサシバが渡ってきました。いよいよ子育ての季節が始まりますね。

<会員以外のみなさん>

一人では見逃してしまうような際に、適切に教えていただき、充実した経験ができました。ありがとうございました。（志田 光さん）

今日はお世話になりありがとうございます。楽しくウォッチングできました。又、参加させてください。たくさん歩いて健康によかったです！！。（西 博昭さん）

こんなに沢山の鳥たちに出会えて嬉しかったです。又、鳥のさえずりに耳を傾けステキな時間が過ごせました。ありがとうございます。（塚田京子さん）

◆観察した鳥

カイツブリ、カワウ、サシバ、ヒドリガモ、コガモ、カルガモ、オナガガモ、コジュケイ、キジ、バン、コチドリ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、クイナ？

31種+鳥合わせ後 エナガ= 32種 <番外 ガビチョウ>



胸帯が太いとみコチドリです (I)
<写真 I: 伊東 孝、H: 東原 聡>



キジ (I)



カワセミ (H)



ホオジロ (H)



バン (H)



ツグミ (H)



セグロセキレイ (H)

◆参加者

伊東 孝、岩淵恒彦、大渡 修、太田桐門史子、菊池和子、菅野文夫、鈴木淑子、
相馬利雄、服部洋之、服部雅子、東原 聡、中澤誠至(せいじ・小1)、
増田久美子、森田洋一、吉田令子
(会員以外 志田 光、西 博昭、鈴木瑞枝、塚田京子)

以上 会員 15 人+会員以外 4 人= 19 人



全員集合 (H)

2024年4月21日 第二回 BBQ 親睦会

4月定例観察会が終了後、「会員限定バーベキュー親睦会」を開催しました。

- 時間：13時30分～16時30分。
- 場所：LOCAL BBQ 流山 <https://local-bbq.com/>

昨年に引き続き二回目です。Aサイト6名、Bサイト7名に分かれ、乾杯の発声で始まりました。みなさんの差し入れの数々、旬のタケノコ、サンチュ、パイナップル、ケーキ、焼きおにぎり、そして日本酒、ありがとうございました。どれも美味しくいただきました。

ほろ酔い気分弾む鳥話し、とてもとても有意義な一時でしたね。

会員の親睦を深められるよう、また楽しい企画を計画しましょう。

<ホームページからログイン（会員ページ→掲示板→トピック一覧「2024年4月21日 第二回 BBQ 親睦会の写真を共有します！」にも臨場感あふれるコメントが投稿されています）>



※焼きおにぎりは、ナイスでした！（写真：トリコママ）

◆参加者

伊東 孝、岩淵恒彦、菊池和子、後藤邦宏、菅野文夫、菅野明美、鈴木淑子、相馬利雄、相馬由佳、服部洋之、服部雅子、増田久美子、森田洋一

以上 13名



会員限定

● 5月葛西臨海公園

(見るぞクロツラヘラサギ)

2024年5月12日

小学生5年 稲垣栞南

干潟はいつも見ることができない鳥がたくさんいると聞いていたのでとても楽しみにしていました。実際に干潟について見ると風が強くて鳥達も飛ぶのが大変そうに感じました。

私が一番興味を持ったのはカラスに食べられていた鳥のことで、双眼鏡で見るだけでなく、同好会の人と干潟の生き物を守っているスタッフの人と一緒にそばまで行って見ることができました。すでに頭は食べられていましたが翼を広げるとカラスぐらい大きな鳥でした。そして鳥が鳥を食べるなんてちょっとびっくりしました。

また干潟にはタヌキのトイレがありました。こんなところにタヌキが出るのかと、信じられませんでした。野鳥ウォッチセンターから鳥を観察していると何処からか本当にタヌキが出てきてそれには、びっくりしました。きっとタヌキも鳥や海にいる生き物を食べて生きているのだらうと思いました。

そしてもう一つ嬉しかったことは菅野さんにスコープの使い方を教えてもらい、自分で遠くの鳥にピントを合わせて見れるようになって、鳥の会の人に見てもらえたことがとても嬉しかったです。

鳥の会の人達はみんな優しい人達ばかりで、もっと鳥のことが知りたくなりました。

*** 栞南さん、素敵な感想文ありがとうございます。また一緒に鳥を見ましようね！



● 残念、最後の1羽も渡ってしまったようです (ウォッチングセンター展示より)



鳥が鳥を食べるなんて・・・



ハシボソミズナギドリ (WebへeBirdより)



群れるチュウシャクシギ



チュウシャクシギ

<編集より>……以下、当日の観察会の詳細です。

2024年5月12日(日) AM 曇天・20℃・風速3m/s

駅前広場に集まった会員19名(後から近藤さんが合流)にて観察会がスタートしました。まずは潮干狩りで賑わう前の西なぎさに直行しシギ・チドリを探します。風が強いとの予報がでていたため心配しておりましたが、肌寒さはありつつも耐えられるレベルであったためホッと胸を撫で下ろしました。

東なぎさとの間にある水路では、潮が引き始めて徐々に姿を現したカキ礁に、ミヤコドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、キョウジョシギたちが集まって採餌をしています。上空では「キューイ」と鳴きながらコアジサシが風に押されつつされど悠々と飛翔しています。水上では、「ピューイ、ピューイ」と鳴きながら次々とキアシシギやチュウシャクシギがやってきて、賑やかになってきました。

そして、遠くの東なぎさでも潮が引いてきて、アジサシ、コアジサシ、セグロカモメ(一部オセグロカモメらしきものもいましたが同定できず)、ウミネコ、カワウなどが飛び交っています。少しだけ見えていたカキ礁の上では、大型のシギらしきものが採餌していました。遠くではっきり見えなかったのですが、下腹と下尾筒が明らかに白く体型もチュウシャクシギより大きく見えたので、ダイシャクシギということにさせていただきました。

西なぎさを堪能した後、渚橋を渡る手前にて鳥類園ウォッチングセンターのスタッフの方がイベントを行っていました。シロチドリの紹介を受けながら、遠くに息絶えたハシボソミズナギドリをハ



シロチドリの紹介



遠くには富士山



キアシシギ



ミヤコドリ



コアジサシ

シブトカラスが啄んでいるのを教えていただきました。菜南さんが興味津々で見に行ったようです。外洋性なので陸地では見ることのない鳥ですね。いつの日か、飛翔している姿を見たいものです。

次の目的地である鳥類園と向かい、今年から再開したウォッチングセンターの二階に上がり周囲を確認します。残念ながら、1羽残っていたクロツラヘラサギは渡ってしまったようでした。上の池・下の池では、ダイサギ、コサギ、オオバン、カルガモ、マガモ、カワウ、カイツブリ等が観察できました。一瞬、丸々と太った可愛いタヌキが現れて子どもたちも大喜びです。

擬岩の観察窓では、下見の際に見たアカアシシギには出会えず残念でしたが、コチドリ、キアシシギ、ハクセキレイなどを観察できました。水門をとおり旧江戸川河口沿いに或るあずまやで昼食タイム。風速 10m/s という強い風にさらされながらの食事となり、長く居られないことから談笑の余裕もなく急ぎ食べ終えることとなりました。

その後、干潮を迎える三日月干潟をじっくりと観察する予定でしたが、強風のため予定を変更し鳥合わせの後に解散→自由行動としました。最後に採餌しているホウロクシギ1羽を観察することができたのはとてもラッキーでした。鳥合わせの結果は35種。西なぎさで活発に採餌するシギたちが見られたので、満足いく観察会となりました。シギ・チドリ類は識別が難しいですが、それを同定することもバードウォッチングの醍醐味の一つだと改めて感じました。当地は、来期以降の定番化も検討したいです。

観察会担当リーダー 菅野文夫



上の池



擬岩にて



コサギ



ダイサギ



婚姻色のコサギ

◆観察した鳥

カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、トビ、マガモ、
カルガモ、スズガモ、オオバン、ミヤコドリ、コチドリ、チュウシャクシギ、
ダイシャクシギ、ホウロクシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、ウミネコ、
アジサシ、セグロカモメ、ユリカモメ、コアジサシ、キジバト、ツバメ、
ハクセキレイ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、シジュウカラ、メジロ、
カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
35種

◆参加者

今泉 毅、今泉好美、岩淵恒彦、太田桐門史子、菊池和子、
近藤浄一、斉藤浩美、斉藤久寿、稲垣菜南(小5)、稲垣虎太郎(小2)、
菅野文夫、鈴木淑子、相馬利雄、相馬由佳、服部洋之、森岩好明、
吉田令子、若林幹夫、若林京子

19人



全員集合 < P5~8 写真：服部洋之 >

◆鳥だより——フィールドノート拝見

今年4月から6月の市内の鳥だよりです。冬鳥が去り、旅の地中の鳥たちが通過し、夏鳥がやってきたのがわかります。今年の夏も暑そうですが、鳥たちと一緒に乗り切りましょう。

新川耕地、江戸川地区

- 3月31日 …サシバ
- 4月 2日 …サシバ、チョウゲンボウ、コチドリ
- 4月 6日 …チュウサギ、コサギ、カルガモ、コガモ、カワウ、ツグミ、ホオジロ、カワラヒワ、ムクドリ、キジ、ウグイス
- 4月11日 …サシバ、チョウゲンボウ、ツグミ
- 4月13日 …サシバ、カルガモ、コガモ、オオバン、カワウ
- 4月14日 …カルガモ、コガモ、オオバン、カワウ、コチドリ、タシギ、コサギ、チュウサギ、ダイサギ、アオサギ、タヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ツグミ、ヒバリ
- 4月18日 …サシバ
- 4月20日 …サシバ、コチドリ
- 4月25日 …ヒバリ、オオヨシキリ、セッカ、カワラヒワ
- 5月18日 …オオヨシキリ、セッカ
- 5月19日 …カワセミ、カワウ、ダイサギ、オオヨシキリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ツバメ
- 5月21日 …オオヨシキリ、セッカ
- 5月23日 …サシバ、オオヨシキリ、セッカ
- 5月24日 …オオヨシキリ、セッカ
- 6月 7日 …アマサギ、ダイサギ、カルガモ、セッカ、オオヨシキリ、ツバメ、カワラヒワ、スズメ
- 6月 8日 …オオヨシキリ、セッカ

森岩好明
森岩好明

若林幹夫
森岩好明
若林幹夫

若林幹夫
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
若林幹夫
森岩好明
森岩好明
森岩好明
若林幹夫
森岩好明

市野谷・おおたかの森地区

- 3月30日 …アオゲラ
- 3月31日 …コチドリ
- 4月 2日 …サシバ、フクロウ
- 4月 6日 …オオタカ、コジュケイ
- 4月15日 …キビタキ
- 4月30日 …オオヨシキリ
- 5月 3日 …コガモ
- 5月 4日 …アオバト
- 5月27日 …オオバン
- 6月15日 …オオタカ

菅野文夫
菅野文夫
菅野文夫
鈴木淑子
菅野文夫
菅野文夫
菅野文夫
菅野文夫
菅野文夫
菅野文夫
鈴木淑子

新川耕地・江戸川地区



サシバ 2024.04.02 森岩



サシバ 2024.04.11 森岩



コチドリ 2024.04.20 森岩



ヒバリ 2024.04.25 森岩



オオヨシキリ 2024.05.18 森岩



セッカ 2024.05.21 森岩

野々下地区

5月 19日 …コチドリ
6月 6日 …コチドリ、セグロセキレイ

相馬利雄
相馬利雄

江戸川南流山地区

5月 5日 …ムナグロ (20+)、ハヤブサ
5月 30日 …チョウゲンボウ
6月 4日 …チョウゲンボウ
6月 5日 …チョウゲンボウ
6月 11日 …チョウゲンボウ
6月 19日 …チョウゲンボウ

相馬利雄
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明

西初石地区

4月 22日 …キビタキ

若林幹夫

駒木・美田地区

5月 21日 …オナガ
5月 24日 …ホトトギス
6月 1日 …ホトトギス

菊池和子
菊池和子
菊池和子

江戸川台地区

4月 16日 …ツミ
4月 28日 …ツミ
5月 2日 …ツミ、オナガ
5月 4日 …ツミ、オナガ
5月 5日 …ツミ、オナガ
5月 6日 …ツミ、オナガ
5月 11日 …ツミ、オナガ
6月 16日 …ツミ

鈴木淑子
鈴木淑子
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
鈴木淑子

上新宿・北小屋地区

5月 3日 …センダイムシクイ
5月 18日 …ホトトギス

若林幹夫
若林幹夫

富士見台・中野久木地区

4月 22日 …エゾムシクイ
5月 10日 …キビタキ
5月 20日 …ホトトギス

若林幹夫
若林幹夫
若林幹夫

江戸川台地区



セッカ 2024.05.24 森岩



オオヨシキリ 2024.06.08 森岩



ツミ 2024.05.04 森岩



オナガ 2024.05.04 森岩



ツミ 2024.05.05 森岩



ツミ 2024.05.06 森岩

★「鳥だより」をお寄せください。

通勤、買い物途中などで見かけた鳥の身近な観察情報、初認情報などをお待ちしています。

【連絡先】若林幹夫 〒270-0127 流山市富士見台1-367-49 FAX:04-7154-6339

e-mail:mikio-wa@rf6.so-net.ne.jp

次号の「鳥だより」は9月20日までをお願いします。

会報『流山とりだより』充実に向けて——会員部からお願い：会員部ファシリテーター 若林幹夫

幹事が中心に執筆してきた会報『流山とりだより』ですが、より多くの会員の方にご寄稿・ご投稿いただき、“みんなで作る会報”にしていきたいと思えます。みなさんのご寄稿・ご投稿をお待ちしています。

◆観察会から……観察会ごとに原則お一人（ご家族などでの執筆もOK）

定例観察会や会員限定観察会のレポートです。「長い文章はちょっと……」という方は、次の事柄のみでもOKです。その他の基本情報や補足情報は幹事が適宜書き加えて仕上げます。

・その回の観察会で楽しみにしていたことは？

・観察した鳥で印象に残っているのは何？ その鳥のどんなところが印象に残った？

・観察会に参加した感想や思ったことは？（楽しかった、暑かった、こんな場所があるなんて知らなかった、コースが短いor長い、次はどんな場所でどんな鳥が見てみたい、……等々、何でもOK）

上記以外でも観察会に直接・間接にかかわることなら自由にお書きください。長い文章の報告レポートも、もちろん大歓迎です。

◆鳥だより——フィールドノート拝見

日々の鳥の観察記録です。観察した月日、場所、鳥の種類、観察した方のお名前をお寄せください。同好会ホームページの「鳥だより（フィールドノート）」に投稿いただいても、若林宛にメールでお送りいただいてもOKです。会報発行の前月（3月、6月、8月、12月）の20日頃までのものをまとめて掲載します。

◆探鳥レポート、フィールドの紹介、図鑑や図書の紹介、鳥についての思い出、等々こうした文章もお待ちしています。

若林幹夫:mikio-wa@rf6.so-net.ne.jp 〒270-0127 流山市富士見台1-367-49
ホームページと会報の連携も今後考えていきます。よろしくお願いいたします。



江戸川南流山地区



オナガ 2024.05.11 森岩



ツミ 2024.05.11 森岩



チョウゲンボウ 2024.06.04 森岩



チョウゲンボウ（幼鳥） 2024.06.04 森岩



チョウゲンボウ 2024.06.11 森岩



チョウゲンボウ 2024.06.19 森岩

◆ 今後の行事予定 <6月、7月、8月は定例観察会はありません。>

● 9月有志による三番瀬観察会（シギ・チドリを見よう！）

日時：9月15日（第3日曜日） 担当：相馬
場所：船橋三番瀬海浜公園 273-0016 千葉県船橋市潮見町40番 047-435-0828
集合：船橋三番瀬海浜公園 観察デッキ1階 9時30分 雨天中止
解散：13時ころ（海浜公園発バス時刻 12：40／13：40／14：40）
持物：弁当持参 ※市外観察会につき会員参加費 200円です
交通：①武蔵野線南流山駅（南船橋行き2番線）8：01発～西船橋駅 8：19着
総武線西船橋駅（津田沼行き）8：27発～船橋駅 8：30着
②東武線柏駅（船橋行き）8：12発～東武線船橋駅 8：43着
<以下共通>
徒歩で京成船橋駅南口前3番バス停へ
船橋海浜公園行きバス 9：00発～終点下車 9：25着（330円）



● 10月有志による個人観察会 松伏緑の丘公園

日時：10月6日（第1日曜日） 担当：相馬
場所：松伏緑の丘公園
集合：松伏緑の丘公園 北側駐車場 9時 雨天中止
解散：11時ころ（自由解散）
持物：弁当は各自自由です
※車を利用し相乗り方法で「個人観察会」を企画します。
車を出していただける方、同乗したい方を募集します。詳細はホームページにてお知らせします。

● 10月（第300回）定例観察会

日時：10月20日（第3日曜日） 担当：菊池
場所：おおたかの森駅「水鳥の池」（入門のんびりバードウォッチング）
集合：おおたかの森駅 東武線改札口前 9時 雨天中止
解散：12時ころ
持物：弁当なし
※カモたちを見ながら、のんびりバードウォッチングを楽しみましょう。



● 11月（第301回）定例観察会

日時：11月17日（第3日曜日） 担当：若林
場所：利根運河（カモはお任せなのだ！）
集合：運河駅 改札口を出て左側「利根運河ギャラリー」 9時 雨天中止
解散：12時ころ
持物：弁当なし

● 12月会員限定 水元公園（冬鳥満載！）

日時：12月15日（第3日曜日） 担当：菅野
場所：水元公園
集合：金町駅 改札口前 9時 雨天中止
解散：13時ころ
持物：弁当持参
※市外観察会につき会員参加費 200円です



◆ チェックリストを改訂しました。同封いたします。

◆ 令和6年6月30日現在の会員数 単体会員 39名 + 家族会員 21名 = 合計 60名

流山野鳥同好会会報 No. 148 2024年7月10日発行（年4回発行 1月・4月・7月・10月）

発行人 相馬 利雄

連絡先 〒270-0163 千葉県流山市南流山6-27-11 TEL・FAX：04-7159-0972

携帯：070-9082-1239 Mail：t.souma1956@gmail.com

郵便為替口座 加入者名「流山野鳥同好会」口座番号：00130-3-608241